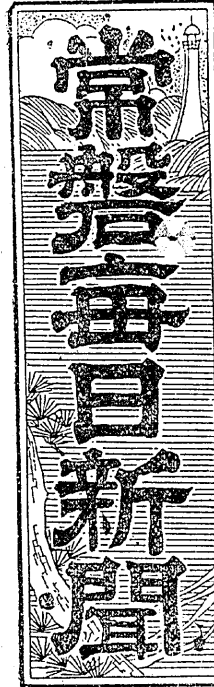


刊夕 日六月九



定価一紙五銭 一ヶ月五拾五銭 郵税五銭  
廣告料五割 日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日印刷株式会社



作 創

### 長恨

小倉 美智雄

#### (一)

「コロコロ」  
室内の何處かでこぼろぎがまだ微かに鳴き續けて居る。初秋の更けきつた眞夜中は殊に静かだ。耳に音するものはコロコロと鳴くこぼろぎと、カッチカッチと刻む柱時計と仲間の人達の鼾だけだ。

山田良作はまた何回目かの眼が醒めたのだ。股の邊が矢鱈に痒い、蚤か南京虫にでも刺されたのだらう。そればかりでなく何んとも寝苦しい晩だつた。明日の働きを思ふと疲労を慮れて、勉めて眠やう

#### ノート

飛行機で二千米以上の高空を飛ぶと速いといふ感じがなくなる。地上の静物との比較が出来なくなるからだ。

と焦つたが、どうしても消えない眠にはいれなかつた。そして僅かな假眠の中に遠い

過去の事來事の数々や、譯の判断らぬ事などが、ゴツチャに夢になつて喜怒哀樂を誘ふのだった。

だが山田良作は現實の寂しい生活を離れた、遠い昔の出來事や、譯のわからぬ事がたとへ夢であつても佗しい生活からは捨て難いせめてもの慰めだつた。

#### (二)

仰になつて、眠つかない眼でどす黒くすくけた裏板をデツと見詰め乍ら回想に

★○○○○○○○○○○○  
○明日の献立  
○○○○○○○○○○○○

【朝】味噌汁――なす 小井 納豆  
【書】さつま芋 つや煮 大根おろし  
【晚】五目煮し

耽つて居ると懐しい祖父や父母弟妹等の顔がおぼろりに浮んで来るのだった。それを消すまい、判然と見やうとして取絶りたい程の氣持で眼を見開くと霧の様に消えて、すくけた裏板に陰気な蜘蛛が巢に纏つて居るのだけが眼底にこびりつくだけだつた。

「畜生ッ」  
煮え返る様な胸に両手を重ねて良作は口中に叫んだ過去の事や親弟妹の事など

を思ひ初めると、胸に重壓を加へられる様なやるせない氣持になるのだった。

### 俳句

山百合

飯田 雪殘

夕立に外出の人の歸り來  
知合の娘と會ひし涼みか  
涼しさや七夕過ぎし俄か  
雨  
海を見ず山に登らず秋來  
秋立つや暑熱衰ふ山の寮  
貝汁に舌鼓打つ今朝の秋  
盃盃の夜毎に近し太鼓  
の音

山百合や彼方の峰に人の  
聲

花 火

土産にも出來ず逃げ行く  
ひき蛙  
林間に妖味漂ふひきがへ  
迎火の小雨に濡れて燃え  
にけり  
百日紅傘傾けて墓參かな  
夾竹桃紅のに咲く墓參り  
かな  
踊子や夕を待ちて縁臺に  
人通りなき町並や影燈籠  
微笑みて顔見交せし花火  
かな

## 近火御見舞御禮

去る四日近火の際は早速御馳付消火に御盡力被下御蔭様にて鎮火仕り類焼を免かれ候一々拜趨御禮可申上の處御尊名御伺洩も混雜に取まされ可有之候へば乍略儀不敢取以紙上御禮申上候  
敬具  
昭和十年九月四日  
平町二丁目

### 西村屋薬舗

鈴木 堅助

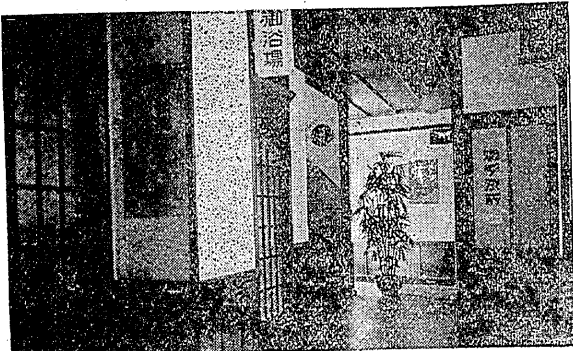
### 關原金物店

#### 薬局開設報告

東京銀座伊東屋特製フランス人形店頭で御目見得致します  
何卒皆様御覽下さい  
店舗改築中大層皆様に御不自由を相懸けましたか愈々出来上りました一寸目新らしき明るい薬局となりました諸大醫處方箋調剤の御相手を仕りますれば何卒皆様方の薬局として多少に不拘御利用下さい  
平町古銀治町(電話四四四番)

## 阿康薬局

店主	が	店員
を	連	て
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
喫茶	堂	
食堂		
平・田町		
レストサロン		
電三五二番		



## 外科 X 光線科

平町 田町

安齊外科醫院  
電話四七五番

花環 盛花 久壽玉 御弔燈 寶明燈  
神佛葬具  
造花  
靈柩自動車  
平新川本橋  
屋本橋  
三六一電

## 吉田眼科病院

平新川町電話六八番  
醫學士 吉田久雄

### 清涼の小瀧へ!!

- ◆宿泊料 1.50 2.00 2.50 (御滞在は左記料金にて中食料をふくませます)
  - ◆日歸浴席料 20
  - ◆自炊料 50-80 入湯料・室料 夜具料一切
  - ◆料理一定食 80 1.00 1.50 その他一品料理洋食
  - ◆湯 効 病・痔疾・婦 病・人病・逆上・中風・肥肝病 (内務省東京衛生試験所検定済)
  - ◆諸 設 備 撞球臺・高級ラヂオ・大廣 間・讀書室・近代式浴場と洗面所・水 洗式便所・小動物園・タクシー部・御 子様運動器具
  - ◆名 物 川魚料理(うなぎ・鯉) 蜂蜜羊かん
  - 女中數名入用
- 常磐線湯本驛 小瀧鑛泉  
御旅館 瀧 の 湯  
御自炊 瀧 の 湯  
電話 小名濱 103番

# 湯本經由は

## 運賃に打撃

### 秘密裡に測量

問題の平小鐵道路線

待望の平小鐵道に關する東京建設事務所の測量は地方民注視の裡に七月以來秘密裡に進められてゐたが愈々近く終了するので水稲刈前に敷地買収が開始され大体内年内に準備をととのへられる模様であるが經由路線に就いて船足利用の常磐炭輸送を目的とする建前から湯本線より小名濱町に至る最短距離の敷設方を過般小名濱港視察に來郡した堀切東北港灣調査委員一行より鐵道當局に

### 進言せられたと傳ふ

る向あるも常磐炭を湯本より小名濱へ直送海上輸送とすれば當然貨物運賃の收入減を來し鐵道自体が莫大の損害を見る結果に徴し斯かる自縛自縛の

### 鐵道を自から敷設するものとは信ぜられない節もあり依然經由路線は疑問符を附された儘に置かれてある事として同鐵道を中心地方産業經濟振興の立場から各關係町村の特異性を縱にした抗争が更に激化するものと見られる

## 各醫院の

### 度量衡検査

#### 日割が決定

平町は全市の開業醫及び齒科醫等で使用する度量衡器検査の爲め町の専任係員が各醫院に出張する事になつたが日割は左の如くである

- 九月九日 研町 古銀治
- 町(十日) 紺屋町 銀治町
- (十一日) 搔槌小路 八幡小路(十二日) 胡摩澤 舊城跡(十三日) 大町 十五丁目(十四日) 四丁目 五丁目(十六、七、八日) 南町(十九日) 新川町(廿日) 鎌田(廿一日) 立町 白銀町(廿三、廿五、廿六日) 田町

## 強氣を持続

### 氣を揉む仲買人

昨日の四倉商市場

昨日の四倉商市場は總數千六百貫、最高四圓六十錢最低三圓二十錢、馴馴十

## 分團對抗野球戰

### 十三日に主將會議

平町青年團の分團對抗野球戰は既報の如く來月十五日平第一、平第三、平商の三球場で舉行されるが今六日

### 碁の勝敗から

#### へなぶり合戦

酬ひたりや篠山校長

圍碁では正木若女校長と共に郡下教育界の横綱格の篠山平第一校長が過般出福の際福島の作山美八氏と戦ひ九連勝の成績で意氣揚々と歸平した、地團駄ふんだ傳

## 第三校庭擴張敷地

### 土地收用法を適用

昨日付内務省から許可

### 急速買収に

既報平町が頓座を來たして居る第三小學校庭の擴張敷地四百二十九坪の買収問題は買収價格坪三圓が地主六名のうち諸橋久太郎、齊藤又三郎の兩氏のみ承諾し残る四地主は坪六圓を主張して譲らぬ爲め平町は右敷地に土地收用法の適用を内務省に申請中の處昨日付付を以つて許可の公報に接したので近く縣の土地收用審査會の手に委ね急速に土地買収の運びを告げると

### 胸にマーク

名譽の級長さん

平町各小學校では今年より新たに正副級長がマークを胸につけることとなつた尚今六日任命式を行つた平第一及び第三兩校の正副級長は左の如くである

- △第一校(三ノ一) 水津由雄 三井隆夫(三ノ二) 清水宣政 吉田昌八(三ノ三) 高木勇 袴塚弘文(四ノ一) 草野昌平 青沼康裕(四ノ二) 佐竹五郎 柴田秀雄(四ノ三) 田中輝助 阿部正義(四ノ四) 小林茂

## 池坊盛花華道會員募集

一ヶ年卒業 花型構成ノ原則ヲ解放 初心者ヲ標準トシテ華道ニ關スル理論及技術ノ大要ヲ確實ニ習得セシム

科目 華道應用盛花、投入、生花、立華

教授場 性源寺 平町長橋町午前九時

時期 每週金曜 平出張事務所 午後一時ヨリ夜間部アリ

講師 池坊華道會長 先崎翠峰先生

申込其他 御用ノ際ハ電話五二六番 (出張事務所) 御利用下さい

◎尚御希望ニ應ジ出張教授モ致シマス

## 池坊華道會

## 鰯網の許可制を

三縣漁業家が共同排撃

鰯網の漁業を許可制とするの案は過日の關東北大會に宮城縣の提出に係り種々紛糾の未可決されたものであるが是れは從來の入漁權を否定しようとするものでありこの提案に對して莫大な損害を直接蒙る本縣漁業家は同様な立場にある茨城、千葉の營業者と聯絡して飽くまでも自由入漁の實現を期するため引續き農林省に猛運動を試み同案の阻止を貫徹することに申合せた由

- 山崎靖夫(五ノ一) 中島恒梅原喜男(五ノ二) 大谷繁雄 稻邊昇一(五ノ三) 石川榮一 關原進(六ノ一) 櫻井博 鈴木善彌(六ノ二) 松本直平 鈴木重雄(六ノ三) 岩崎宏次郎 門馬政衛(高ノ一) 佐藤滿夫 片寄文夫(一ノ二) 宇田恒雄 田島秀則(二ノ一) 田中忠太郎 新妻常雄(二ノ三) 富田正一郎 加藤浩平
- △第三校(三ノ一) 井上進 小泉武夫(三ノ二) 金成俊男 鈴木寛(三ノ三) 佐久間雪子 遠藤千代子(三ノ四) 小宅フミ 永山智子(三ノ五) 國分喜代明 玉木英雄(四ノ二) 志賀武夫 鈴木健三(四ノ三) 布施敏子 古市利子(四ノ四) 三森孝子 丹野幸子(五ノ一) 橋本孫四郎 木村康(五ノ二) 橋本克己 鈴木斧吉(五ノ三) 五十嵐實枝子 三井散子(五ノ四) 松崎幸子 勝見米子(六ノ一) 吉田真一 寺門武彦(六ノ二) 野澤登記枝 影山サト子

# 昨今の陰氣な天候

## いつ頃晴れるか?

### 石城地方は二百廿日の

## 前後を相当警戒

氣狂天候に悩む石城地方は、颶風通過以來引續きぐずついて居り、一週間と云ふものは晴々とした秋空を見ることも出来ず何とはなしに憂鬱だ。

第一の荒二百廿日を控へて農家は杞憂にとざされてゐる。この不快な天候は何時恢復するだらうか、小名濱測候所の發表に依ると本海岸に七百六十二ミリの高氣壓があり朝鮮南部になつて七百五十六ミリの低氣壓が勢力は弱いが多量の雨をもつてをり北方に

進行中で、朝鮮地方は百ミリ以上の雨量があり盛んに雨を降らしてゐる。最近の梅雨模様の天候は此の低氣壓の影響で毎日續くのだが此の低氣壓が解消しない限り當分此の天候は恢復しなうもなく、颶風は南大木島南及西に進行中で六日朝には琉球方面は相當荒れる見込みだ。

石城地方の颶風襲來は十二日の二百二十日前後に來る見込みで強弱は判明せぬが相當警戒を要することと思はれる。

## 搜索願の種々相

### 駆落資金

大枚二千圓

神奈川縣横須賀市佐野町五九九關口一生の妻ヨツ(三三)は去月上旬東京市北多摩郡西府村玉川寺住職野村浩二(九)と懇ろになり去る廿八日亭主の金千五百圓と六百圓餘の貴金屬品を持つて兩名共行衛を晦したとて百圓の懸賞付で平署に搜索方願を出した。

### 失業悲觀

行方不明に

川前村大字上桶賣四一勇藏三男電工根本真(三三)は最近失業したのを悲感し行衛不明となる。

### 病弱の身

自殺の惶れ

田村郡大越村宇山口五九神田信(三三)は病弱を悲感して去る一日郵便貯金十六圓四

## 置き去り

### 内妻の憤概

双葉郡長塚村大字鳴草草割山居住桶屋山本政治(三三)は去月廿九日出稼に行くと稱

## 自動車窃盗

### 懲役二年求刑

安達郡高川村生れ住居不定前科二犯清野吉之助(五五)が昨年十一月郡山市柳湯入浴中の同市清水臺自動車運轉手佐藤與藏の免許證を窃取して上京右免許證をもつて佐藤與藏となり濟し數件の窃盜横領を働き去る七月二十五日平町南町芹澤タクシ一方に雇はれ取立金十二圓を携帶運轉中の四七七号フオード車を運轉して白河へ逃走更に上京悪事を重ねて再び平町に舞ひ戻つた處を平署大谷刑事に逮捕された事件は今六日午前十時より平區小林判事係り白水檢事立會公判開廷懲役二年の求刑あつたが判決言渡は明七

## 石城梨の

### 運賃を協定

既報石城梨の共同出荷期も迫つたので平驛では来る十日午後二時から驛樓上に郡農會各町村農會役員出荷組合代表等百餘名の集集を求め運賃協定、荷造法注意其他に就いて協議すると

## 竊に延焼

### 鎌田の小火

平町鎌田町四二竊仲買商古川直市(三三)方の乾燥室から昨五日後八時頃發火室内に山積してあつた竊に延焼

明日の天気 今晩北東の風驟雨模様明日北西の風天気よし

## 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
「秋の草花」宮本幸恵  
後六、二五 夏期特別講座  
「全國神社巡り」霧島神宮  
早山茂阿蘇神社鈴木登  
後七、三〇 講演一應用理  
學三題話「八木秀次  
後八、〇〇 ビアノ獨奏

## 明日の部

澤崎秋子  
後八、二五 清元 茶筌賢  
清元家枝太夫他  
後八、五〇 連續講談「丹  
波屋政談神田伯龍  
後九、三〇 時報 ニュー  
ス 氣象通報 番組預告

## 逃る途中

### 綴驛で捕る

前借踏倒しの酌婦内郷村大字宮字金坂四五治三郎三女茨城縣松原町飲食店松葉屋方酌婦佐川ウメ(三三)は昨五日午後四時前借金四百五十圓を踏倒して逃走下り列車で綴驛に着いた處を駐在所員に取押へられた

## 集金横領

### 行衛を晦す

平町田町二八某新聞店員加賀行雄(三三)假名は去月廿九日好間村田島新聞店より集金した二十圓を横領した外前後數回に亘る集金横領が發覺し店主から説諭されて一時は改心を誓つたが卅日午前十時頃夏井村の集金十圓を足代に何處へか行衛を晦したので流石に寛大な店主も我慢が出来ず本日平署

前六、三〇 速成フリス  
語講座 丸山順太郎  
前七、〇〇 朝の修養「弘  
法大師の生涯」富田敦純  
前八、〇〇 婦人の時間  
「遺傳の話」三宅驥一  
後八、〇五 吹奏樂 大阪  
市音楽隊(桃谷中繼)  
後一〇、〇〇 東京大學野  
球リーグ法帝、明立戦  
(神宮球場中繼)  
後二、〇〇 母の時間「女  
學生時代の身體の發育」  
竹内茂代  
後四、二〇 全日本サイク  
ル選手權大會(甲子園南  
運動場中繼)

後六、〇〇 子供の時間  
お伽歌劇「雷神と醫者」大  
阪松竹少女歌劇童話劇研  
究會  
後六、二五 教育者體驗談  
「不良兒童育につきて」鈴  
木兵喜「盜賊の兒を持ち  
て」西塔幸子  
後七、三〇 獨唱三上孝子  
後七、五〇 立體漫談「縁  
談錢湯」武田春郎 坂本  
武 飯田蝶子  
後八、一〇 詩吟 磯部賀  
堂  
後八、二〇 連續講談「丹  
波屋政談」神田伯龍  
後九、〇〇 時事解説

## 体育獎勵調査

### 縣體

育協會佐藤寅四郎氏は體育  
斯道獎勵結果調査のため來  
る八日來郡各團體を視察す  
る

## 草野農事座談

### 草野

村馬目農事實行組合は來る  
十二日午後一時から組合樓  
上で農事座談會を開き農事  
技術員吉成技手が出席する

## 平職業紹介所報告

### 回 人を求める方

△女中兼子守 十二才以上  
尋卒 月五—六圓

## 死の抗議

### カルモ自殺

遺産を横領されて  
内郷村大字御臺境字坂下一二草野公(三三)は本六日朝カ  
ルモチンを多量嚥下し苦悶中を隣家の者が發見應急手  
當を加へたが生命危篤である原因は殘された遺書に依  
ると遺産を繼母及び叔父の奸策で捲き上げられ前途の  
光明を失つた爲めらしく前記兩名に對し死を以て抗議  
した怨の遺書があり遺産を環つて復雜した事情がある  
らしいと

△製糸男工 二十二才 商  
業四年修  
△コック見習 十七才 尋  
卒





# 明治太平記

(上巻及上巻)  
(作) 寺島証史  
(監) 寺島証史

## 第二百十九回

### 浪々の身 (十一)

『天罰だ。明治白浪五人男の面汚しだ。ざまアみる』  
『そ、そういふのは、木隠れの兄貴ではありませんかそ、そんなむごいことを……』

『なんだと、むごい？、そのむごい目に、大島を遣はしたのはどこのどいつだ？……』  
『そ、それには、深い、わけが……』  
『いや、そのわけをきくものか』

『む、むう、そちらは、甲州屋の兄貴ですね、新三さん、何とかやさしい……』  
『なに？』

『やさしい言葉の一つもかけて、この死んでいく青山良順をよろこばしてくだらう』  
『云ふな！ 人斬り！ 大島小僧の、てめえもかたきの一人だ。われ／＼が手にかけて、殺さうとしたのだ。畜生！ 誰かに殺されて、てめえ、運がよかつたのだ。よろこべ』

『む、むごい……』

おふくの良順は、苦しさと、恨めしさに身をもがいた。  
天竺浪人の安蔵は、子分たちをかへりみていつた。  
『さア、時刻がおくるとけたものは、館へかへつてしまふだろ。ホテル館の入口で、やつてしまはねば……』

『どこでも、しれたことだ』  
『あ、あたしは、このまゝ死んでいく身です。死んでいくあたしにせめてそれだけをしへてくだらう』



おふくの良順は、血に染つた雑草をつかんで這ひ出してきた。  
『もう、裏切り者のてめえに用はないのだ』  
甲州屋新三は、それでも振りかへつて良順の血みどろな顔を見た。  
『あ、あなたがたは、何處へいきなされる？』  
おふくの良順は、途切れ／＼の聲を放つた。  
『どこでも、しれたことだ』

『あ、あたしは、このまゝ死んでいく身です。死んでいくあたしにせめてそれだけをしへてくだらう』

『どうか、それだけは！』  
『なに？』

機会をのがしてしまふ、往かう』  
『合点だ』  
三人はおふくの傍を離れた。  
『親分！ 木隠れの兄貴新三さん』

『ならぬ！』  
『あなたがたは、ホ、ホテル館へいくのでせう』  
『パークスをころしに行くのでせう』  
『どうか、それだけは！』  
『なに？』

三人は、おもはず足をとめた。  
『おねがひです。天竺の親方、木隠れの、し、新三さん』  
木隠れ山田貢は、憤らしく二三歩退りして、おふくの良順の撫肩へ片足をかけた。  
『おのれは、まだ、パークスをかばふのか』  
『い、え』  
『いや、大島をころしたあのけだものを、あくまで、てめえは、かばふつもりだな』  
『そ、それは……』  
『ようし、この犬畜生！』  
木がくれば、おふくの肩へかけた片足に、力を入れて踏つけたおふくの良順は五體をくづ折らして、そして、なほも苦しい息の下から叫んだ。  
『い、え、あのパークスをころしたら、た、たいへんなことになります』  
木がくればの背後で、天竺浪人は低く叫んだ。  
『おい、二度とない機会だはやく往くぞ』  
『おう』  
木がくれば、おふくの良順を離れた。

**喜多流謠曲と仕舞の**  
お稽古を奨め致します  
平町田町六九  
**喜多流 仕舞白土會**  
電話二二七番

**貴方の御家庭に**  
お手不足は御座いませんか  
**本會を御利用下さい**  
直に家政婦を派出します  
親切 料金は極めて低廉で  
町寧 妊産婦の御家庭 お留守居番  
御病人の付添 炊事や雑用 年寄やお子さんの付添  
**派出多忙に付會員至急募集**  
平町紺屋町二(電話二二番)  
**上原家政婦會**  
會主産婆 上原通子

**難波**  
内科一般  
醫學博士 **難波 睦**  
看護婦募集  
平町大町新川端  
電話五〇二

**玉屋洋品店**  
平町田町通電話二五九番

専門  
産婦人科  
花柳病科  
入院隨意  
**井坂醫院**  
平町田町 電話五五九番

株式賣買  
會社資三共商事  
大町 電話三六〇番